

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月14日

事業所名 阿桜園 ほっとハウス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			現在利用している方はいませんが、活動の内容に合わせて園内の空間を利用する等の工夫をします。	
	2	職員の配置数は適切である	○			適切に配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			バリアフリー化に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			清潔で心地よく過ごすことができるように努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			マニュアルを整備し、職員間で意見を出し合い、業務の見直しや改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			○	現在利用している方がいないため、保護者に対しての事業所の評価の実施はしていません。	実施した場合は結果を参考に業務改善に向けて努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表しています。	今回も、事業者向けの自己評価について公表します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は実施していませんが、法人が行う内部監査等を通して業務改善に繋げています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			園内外の研修に参加し職員の資質の向上に努めています。	今後も研修への参加を通して情報の共有を図り、職員の資質の向上に努めていきます。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者からの要望を聞き、日頃の関わりを通して本人の要望を汲み取りながらニーズや課題を分析し、支援計画の作成に努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			園で統一されたアセスメント票を活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			マニュアルをもとに本人、家族の要望やニーズを把握し、具体的な支援内容の設定に努めます。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画に基づいた支援に努めます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員間で話し合いながら、活動内容について立案します。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			週替わりの活動を基本としながらその日の本人の状況に応じた活動も提供します。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			本人の状況に合わせて適宜組み合わせる支援計画の作成に努めます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援内容や役割について確認を行っています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援の振り返りを行い、気付いた点について職員間で情報の共有に努めています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			分かりやすく、適切な記録に努めています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しについて話し合っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			当園の相談支援専門員が参画しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			関係機関と連携した支援に努めます。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在、医療的ケアを要する子どもの利用はありませんが、利用時は医療機関と連携して支援します。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			現在、医療的ケアを要する子どもの利用はありませんが、利用時は主治医や医療機関との連絡体制を整えて支援を行います。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			相談支援専門員を通して情報の共有、相互理解に努めます。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			相談支援専門員を通して情報の共有、相互理解に努めます。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		園として専門機関と連携し研修等を受けており、情報の共有に努めています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現在、交流する機会はありません。	利用者や保護者に要望を聞きながら実施について検討していきたいと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			相談支援専門員や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎を通して本人の様子に伝え、情報の共有に努めます。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、今年度ペアレント・トレーニングの研修を職員が受け、情報を共有しています。	ペアレント・トレーニングの研修を通して学んだことを支援に活かしていきたいと思っています。
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書等を通して、分かりやすい説明に心掛けています。	ご不明な点については説明いたしますのでお知らせください。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			児童発達支援計画については、保護者に説明を行い、同意を得た上で支援を行うよう体制が整えられています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談や悩み等については必要に応じて助言し、支援に努めます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現在利用中の方がおらず父母の会等の支援は行っていません。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情相談受付の体制は整備されています。気軽に話ができるような環境づくりに努めます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期にほっとハウスのお便りを発行し活動予定等についてお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			法人で定めた個人情報保護規定に基づき、注意して対応しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者と情報交換を図りながら、子どもの思いを汲み取れるように配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			園としては地域の方にお知らせし行っています。(夏祭り、園祭等)	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		職員はマニュアルを周知しています。保護者にも随時お知らせします。	保護者用のマニュアルはありませんが、利用する際には説明し周知に努めたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			園で毎月避難訓練を実施しています。利用時に実施した場合は、体調に配慮しながら参加を促します。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			事前に服薬やてんかん発作等の健康面について家族に確認し、支援します。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、対象者はいませんが、配慮して対応することは可能です。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			所定の様式を用いて全職員で確認し、共有に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置しており、全職員を対象とした、研修やチェックリストの実施、読み合わせ等を行い、虐待防止に努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在、対象者はいませんが、身体拘束についてはマニュアルに沿って対応する体制が整えられています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。